

○札幌開発建設部では、**2020年からの新しい学習指導要領の全面実施**に向けて、**石狩市をモデル校**として学校教育現場における防災教育の支援の取組みを推進しています。

○主な支援の取組として、以下の支援を実施しています。

① 地域に応じた教材の提供、② 教員への防災・河川教育に関する解説、③ 指導計画、発問・板書計画等の検討

○石狩市の教育委員会及び小学校教員、札幌開発建設部等で構成する「**石狩市防災教育プロジェクトチーム会議**」により、**小学校5年生の社会5時間を対象**として、平成28年度より試行授業を実施中です。

○授業後にはプロジェクトチーム会議を開催し、指導計画及び教材等に意見をいただき、資料へ反映しています。

○大雨が降ったときに危険になる場所と、避難所までの避難ルートについてグループで話し合ったり、石狩川浸水想定区域図に示されている浸水深がどのくらいなのか、小学校5年生の等身大の模型を使って学習しています。

指導計画(案)等の理科、社会の授業で活用できる防災・河川教育資料集については、北海道開発局HPに掲載されております。

<http://www.hkd.mlit.go.jp/ky/jg/bousai/splaat000000a6fw.html>



水害から命を守る行動について学習



避難ルートについてグループで学習



日本で発生した自然災害について学習



提供した教材の事例



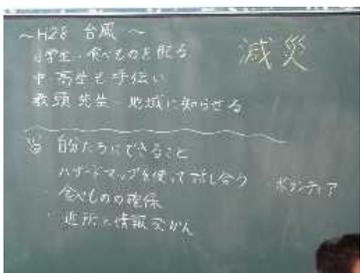
まさに水が流れ込んだら何が起きる？



防災教育イラストを使用して学習



水害から暮らしを守る公共施設を学習



自分たちでできる防災行動を学習



プロジェクトチーム会議